

にしなすケアネット

通信



平成29年9月28日
第1号

発行：にしなすケアネット企画運営委員会

地域ケア会議について

地域ケア会議は、個別事例を通して、支援の充実と、それを支える地域の基盤整備を同時に進めていく、誰もが安心して生活できる地域の実現に向けた会議です。

何が地域に足りないかを話し合い、どのようなサービス・活動があれば、より住みやすい地域となるのかを考えることも地域ケア会議の目指すところとなっています。

黒磯地区では「草の根ケアネット」塩原地区では「しおばらケアネット」がすでに活動しています。

にしなすケアネットの目的

- ① 個別課題を検討、解決
- ② ケアマネージャーのマネジメント能力の向上
- ③ 地域住民、医療関係者、福祉関係者等のネットワーク（顔の見える関係）の構築
- ④ 地域課題の「明確化」「言語化」
- ⑤ 圏域内で解決できる課題は圏域内で解決

にしなすケアネットがスタートしました！

西那須野地区の地域ケア会議である「にしなすケアネット」が8月24日（木）国際医療福祉大学病院5階講堂にて第1回目の開催となりました。出席者は高齢者分野だけではなく、障害者、子ども等幅広い分野の関係者、行政、そして地域住民の代表として自治会役員、民生委員、福祉的な活動をしている方々、総勢84名でした。事務局の地域包括支援センターとちのみ上新達也氏は、冒頭の挨拶で「誰もが、最期まで、自分らしく、安心して生きることができるような“まちづくり”をするための会議である。先人から引き継いだ開拓魂を持つ我々ならできると信じている。どうか皆さんのご協力をお願いしたい」と述べました。

市民からの活動報告

西三島自治会の橋本会長は、実際の取組として地域住民助け合い事業と地域づくり型介護予防について紹介しました。西三島自治会では、平成27年2月から地域住民助け合い事業が開始しており、「住民主役」「地域の絆の再生」をテーマに取り組んでいます。協力者に負担にならないことも大切だと考えており「できることを・できる範囲で・できるときに」実施してもらっているとのことでした。また、地域づくり型介護予防事業については、平成28年5月から自治公民館にて週1回「いきいき百歳体操」を実施しています。男性の参加者も多く、参加者は体操だけではなく、体操前後の会話も楽しまれているとのことでした。



グループワークの様子



市民活動報告をする
橋本自治会長

自分の組織・自分の地域で何ができるのか？

誰もが住み慣れた地域で最期まで人生を全うするためには「自分の組織、自分の地域で何ができるか」をテーマにグループワークを行いました。普段関わりのない専門職と地域住民、異分野の専門職同士が意見を交わし、活発な意見交換が行われました。地域住民からは、「多世代が交流できる地域の居場所を作りたい」「普段の生活の中で心配な人を見守りたい」等の意見が出ました。専門職からは「生活困窮者やひとり親家庭のために雇用を検討したい」「デイサービスの車を利用して、買い物等のお出かけ支援を検討したい」等の意見が出ました。

今後は、事例検討を通して地域の課題を探り、解決に向けて話し合っていきたいと思えます。



意見を交わす参加者

今後の予定

第3回 10月26日(木)
(内容) 目指すべき地域像

第4回 11月16日(木)
(内容) 8050問題 ※

第5回 12月21日(木)
(内容) 児童の貧困事例

第6回 1月25日(木)

第7回 2月22日(木)

第8回 3月22日(木)

時間 午後1時30分～
場所 国際医療福祉大学
病院5階講堂

※8050問題

80歳代の親が、50歳代の引きこもり状態にある子供の面倒をみる事例が増えている実態

【企画運営委員紹介】(敬称略)

- ①橋本 秀晴 (西三島自治会長)
- ②柴 信行 (国際医療福祉大学病院)
- ③吉成 和子 //
- ④中村 裕二 (那須塩原市社会福祉協議会)
- ⑤細川 智也 //
- ⑥磯 睦美 //
- ⑦柴田 直也 //
- ⑧菊地 由紀 (西那須野西部地域包括支援センター)
- ⑨矢板 亮子 //
- ⑩平山 武規 //
- ⑪生駒 慎太郎 //
- ⑫上新 達也 (地域包括支援センターとちのみ)
- ⑬遠藤 晃子 //
- ⑭山越 正人 //

【事務局】 地域包括支援センターとちのみ
〒329-2763
住 所 那須塩原市井口533-11
電話番号 0287-37-1683
FAX 番号 0287-37-7688

西那須野といえば…



開拓魂!